

# 令和5年度 学校経営計画書

玉野市立荘内中学校 校長 住田 義広

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

教育DXを推進し、生徒の新しい学びと教職員の働き方を具現化し、令和の中学校教育を創造する。

## ○学校内外の環境分析

### 【内部環境】

- ・生徒数347名。素直で積極的に主体的な活動に取り組むが、人間関係の固定化、家庭学習の時間が短い等の課題もある。また自分の可能性を見出せない生徒や個別支援が必要な生徒も多い。
- ・中学校区一貫教育校園として就学前教育保育及び小学校教育との連携を推進している。
- ・玉野市教育委員会から「未来の学校づくり推進モデル校」指定（小中連携の深化やGIGAスクール充実による新しい学びスタイル創造、多様な学びの場の整備による「みんなの学校」化を研究推進）
- ・教職員には改革心と教育愛があり、生徒を主役に位置付け、未来の学校づくりを進めている。一方で急激な若返りが進む中で指導力の向上が必要であるとともに急激な改革に戸惑う教職員もいる。

### 【外部環境】

- ・学区が広く、田園地帯と新興住宅地が混在しており、住民の意識の多様化が進んでいるが、学校教育に対しては応援する機運が醸成されている。保護者は教育熱心で学校に協力的であるが、保守的な考え方も根強い面もある。また、虐待等の見守り家庭も多く、基本的な生活習慣や学習習慣の育成で連携が必要な面もある。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

校 訓： 明るく 正しく たくましく

学校教育目標： 主体的に学び、主体的に行動する生徒の育成

～志を胸に自らを律しながら、未来創造へ挑戦していく生徒の育成をめざして～

目指す学校像： 生徒が笑顔で活躍する学校

目指す生徒像： 志を持ちポジティブに挑戦する生徒

目指す教職員像： 自らをアップデートし続け、生徒を主語にした教育活動を実践する教職員

## ○令和5年度の具体的な学校経営方針

●全教育課程を通じて、主体的に学び、行動する生徒を育てる。

●全教職員で「未来の学校づくり」に取り組み、「令和の日本型教育」の実現を目指す。

### 1 「荘内中版：学びスタイル」(先行学習を基盤とした協同学習)による確かな学力の育成

教育DXを推進し、これからの学びスタイルを実現

- ①先行学習による予習学習活動を推進し、授業での探究場面等の充実を推進
- ②全教職員及び全校生徒に協同学習の理念の徹底を図り、生徒主体の授業改善を推進
- ③学習用端末を活用しながら授業と家庭学習が繋がる学習活動を推進し学びに向かう力を育成
- ④教科特性に応じ、クラウド課題やAIドリルによる予習・復習を重視

### 2 生徒が主役の学校づくり

(1) 開発的な生徒指導の推進（PBI S：ポジティブな行動的介入と支援）

- ①PBI Sの取組を充実させ、主体的に正しい判断のもと行動する生徒を育成
- ②生徒の思いを受け止め、正しい行動を生徒自身に考えさせる指導場면을重視
- ③「こみゅトレ」等の教育活動全般で自分と向き合い、自分を高め、他者と繋がる力を育成

(2) 生徒が企画運営する活動を充実

- ①学級・生徒会活動、学校行事、部活動等で、生徒が自治し、活動内容を企画運営する取組を重視
- ②学力向上プロジェクトチームの充実で生徒同士が支え合い、高め合う企画を展開
- ③学校生活における多様な課題の解決に向け生徒たちに考えさせる場면을重視

### 3 中学校区一貫教育の推進

- ①キャリア探求・SDGs探求学習を柱とした総合的な学習の時間と学級活動を総合的に推進し、一貫したキャリア教育を充実（各教育活動を横断的にマネジメント）
- ②「中学校生活スタートプログラム」の充実及び多様な異学年交流等の体験活動を推進
- ③キャリア教育、授業改善、GIGAスクール、生徒指導、児童会・生徒会、特別支援教育の6部会で研究を推進

### 4 「みんなの学校」を実現（思いやりの心を育み共生社会の実現を目指す人間の育成）

- ①多様な学びの場の整備・支援サイクルの推進で多様な課題のある生徒へ個別最適な支援を実施
- ②教育活動全体を通して共生社会の実現を目指す豊かな心を育成

### 5 教職員の資質能力の向上・働き方改革の推進

教育DXを推進し、これからの働き方スタイルを実現

- ①各種研修を充実するとともに校内の教職員支援体制を充実し、資質能力を育成
- ②教育活動の見直し・効率化、デジタル化を進めることで時間外在校等時間の削減を徹底

